



# えんだより

令和8年2月  
旗川幼稚園

## バスの中で

週に1回ですが、私も朝のバスに乗っています。子どもたちとおしゃべりはとても楽しく、いろいろな話が聞ける貴重な時間となっています。

特に窓から見える景色の話をよくします。今の季節は、梅の花が咲きだしたことや、真っ白な富士山のこと、反対側に見える男体山のこと、いつも見える富士山が今日見えないのはどうしてなのかなどなど。いつでも「どうして?」「何で?」と不思議に思ったことを口にするので、皆で考える話題が生まれます。それについて思ったことを話そうとしたり、「そうなんだ」と納得したりすることで知識が増えていきます。

また、人員確認のために出欠をとっていますが、その際も何月、何日、何曜日、何人乗っているかを聞いていきます。最近は、曜日を言えないお子さんが増えてきています。昔はテレビのアニメ番組で曜日を覚えていた子が多かったのですが、今は好きな番組を好きな時に見られるので、曜日の感覚がないようです。これも日常的に使わないと覚えられません。便利になる中で、失われていくことも多くなっていると実感しています。

知識は会話することで増えていきます。耳から聞いた言葉を使って自分で話してみることで覚えていきます。「これ・それ・あれ・どれ」で済ませず、きちんとした言葉で話していきましょう。

梅の花が咲き始めました。寒い冬もあと少しのようです。ふれあいの日では、お子さんの成長を感じることができたでしょうか。親子で楽しく過ごしたり、先生の話真剣に聞きながら取り組む様子を見ていただいたり、有意義な時間だったのではないのでしょうか。

卒園、進級までのこれからの時期は、クラスでの思い出を作ることはもちろんのこと、戸惑うことなく新しい生活に向かっていけるよう保育していこうと思います。不安な事がありましたら、いつでもお話しください。



## ゆきあそび

先日の雪はたくさん遊べましたか? 思った以上の積雪に大喜びだったのではないのでしょうか。

次の日の雪遊びの様子はホームページでもお伝えしましたが、雪合戦ではなぜか先生が標的に……。雪玉を持って追いかけてっこをしながらぶつけて遊びました。大人も子どもも本気でやるから楽しいのです。手を真っ赤にして、「冷たい!!」と言っては、お湯の入ったバケツに駆け寄り手を入れ、隣にいる子と「あったかいね」と言いながら顔を見合わせホッとする。この繰り返しも楽しかったようです。あまりの手の冷たさに泣きだす子もいましたが、この実体験が大切です。寒いから、冷たいから、風邪をひいてしまうからと言って家の中にはもったいない! 寒い季節も親子で楽しんでくださいね。



## スマートフォンと上手に付き合っていますか？

スマートフォンは園でも時々使います。以前【手のひらを太陽に】の歌に「おけらだって」という歌詞がでてきた時に、おけらを調べたことがありました。今すぐ知りたいという時はとても便利な物ですね。

しかし、何でもスマートフォンで解決することはどうでしょう。動物の鳴き声もスマートフォンで聞いてしまっては実物を知らなくとも良い事になってしまいます。子どもの時こそ本物を通して知る実体験が必要だと思います。スマートフォンは最終手段として活用したいものです。

ところで、スマホやタブレットを長時間見続けることは視力の低下につながります。ここ2、3年で視力の弱い子さんが増えたように感じます。日頃からお子さんの様子を見て目を細めていたり、首を傾けてテレビを見たりしていないか気に掛けておくとうれしいと思います。

また、動画ばかり見ていませんか？動く映像ばかりでは想像力は養われません。絵本に描かれている絵から物語を想像したり、場面を理解したりすることで言葉の数も増えてきます。気に入った絵本は何度も読み返したくなり、文章を暗記してしまう子もいます。年齢に合った絵本を大人が選んであげることも大切です。物語も理解できる年齢ですので、お忙しい事とは思いますが話の内容や長さなどを考慮し一緒に見る時間を作ってあげて欲しいなと思います。寝る前に1冊だけから始めてみませんか？



## ほけんだより

市内ではインフルエンザのB型が猛威をふるっています。園ではインフルエンザではなくコロナでしたが、感染症の流行には気を付けたいものですね。

市内の感染症の状況は毎日ホームページに載せていますが、水ぼうそうや胃腸炎、溶連菌やマイコプラズマも見られます。お風呂に入った時や、体を拭くときなどにお子さんの体をよく見ていただき、水ぼうそうなどの発疹に早めに気付けるといいですね。

また、胃腸炎にも早く気づいてあげられるといいですね。熱が出る感染性胃腸炎もありますが、熱が出ない場合もあります。しかし、前兆があります。ゴロゴロしたり、だるそうな顔をしていたり、目が二重になっていたり、食欲がなく、いつもより食べる量が少なかったりなど、何かしらのサインはあると思いますので、熱がないからと登園させず、様子を見ることも大切です。特に小さいお子さんは症状を言えないことが多く、ムカムカしたり、気持ちが悪くなったりした経験もないため、どう表現していいのかわからないことが多いです。園でも顔色や元気のなさ、普段の様子との違いから判断するようにしています。

睡眠と栄養で免疫力を高め、適度な運動で体力を付けてこの冬を乗り切りましょう。

## おねがい

給食の献立はお子さんに伝えていますか？スープの日にコップを忘れてしまうお子さんが多いようです。自分が食べる物に関心を持つことは、食材や料理名を知るきっかけにもなりますので、食育の一環としてご家庭でもご協力をお願いします。

